

空き店舗活用 手芸品など販売

女性8人が運営する
「ふらっと干房」。作者の
・ら・ら・ら。見える店として人気
を集めていく
＝上山市・JRかみのやま温泉駅前



店番を一人用三回ずつ分担するなど、工夫しながら経営。月間の売り上げも順調に推移し、オーブン時と比べて二倍ほどになつたという。

かみのやま 温泉駅前 教室も開催し人気

渡辺さんは「接客する
ことで、反応をいかに
感じることができ、作り
手としては刺激になる」と
話し、「これから
も楽しく店を続けてい
きたい」と抱負を語つ
ていた。

さん。地元客には、つる
編みや、さまでまなブリ
ントを切り抜いて素材に
はる技法「デコパー・ジ
ュ」、創作人形など、各
出品者の技術を生かした
手作り教室が好評で、口
コミで広がっている。

店舗はJRかみのやま温泉駅前で、目の前にはバス停もある」とから、来客数の七割近くが観光客だという。「観光客の休憩所にもなっていて、お土産として作品を買っていく人も多い」と渡辺

広がりだした上、自立したことで、みんなのやる気や危機感が増して商品開発にも力が入つた」と好調の要因を分析する。

トリアリアで電池パックが発火し、机などが焦げる事故が三件あった。けが人は出でていないという。ソニー製の電池は発煙、発火事故が相次いたため、東芝やデルなどが世界全体で約九百六十万個を対象に昨年から回収を始めた。新たに回収す

回収する電池パックの
型番は「PABASO6
7」と「PABASO7
6」。昨年一月に
に製造したダイナブック
の一部に使われた。昨年
九月以降、日本とオース

「ダイナブック」に使つたソニー製のリチウムイオン電池パックの一部に、発火事故が起きる恐れがあるとして約一万個を無償交換すると発表した。

ソニー製電池
1万個を回収
東芝PC発火の恐れ
東芝とソニーは十九
日、東芝のノートパソ

暴力団に住む男性

署員の飯酒に疑い。交中の中の同署冒犯した。

で、米沢支那課員千田昭雄逮捕した。調べによると、島の国道2号線沿いに同姓の島の署員の飲酒

▲報道二